慶應義塾大学学術情報リポジトリ Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	薬局での口腔内環境チェックに対する歯科医師の認識及びニーズに関する調査				
Sub Title	Needs of dentists for the oral check at community pharmacies				
Author 岩田, 紘樹(Iwata, Hiroki)					
Publisher	慶應義塾大学				
Publication year	2020				
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2019.)				
JaLC DOI					
Abstract	 う蝕や歯周病は全身の疾患の原因にもなり得るため、口腔内環境の維持は重要である。一方で、近年、医療費抑制や健康寿命延伸のために、薬局には健康サポート機能が求められている。2015 年9月に薬局店頭での唾液による口腔内環境チェックが可能となったが、それに対する歯科医師の 認識やニーズを明るかにするとともに、薬局と歯科の連携の展望を検討することを目的とした。調 室対象は東京都内の歯科医院からランダムに抽出した1,000件に勤務する歯科医師とした。2019年 7月11日から2019年8月9日に、戦送による無記名の自記式費間紙調査を実施した。そうた259代 の回答(回収率26%)全てを解析対象とした。薬局での口腔内環境チェックに対する認知度防ました。2019年 7月11日から2019年8月9日に、戦送による無記名の自記式費間紙調査を実施した。得られた259代 の回答(回収率26%)全てを解析対象とした。薬局での口腔内環境チェックに対する認知度酸なした。2019年 の回答(画収率26%)全てを解析対象とした。薬局での口腔内環境チェックに対する認知度は5% と極めて低かったが、それを支持した歯科医師は5%に上り、「患者の歯・歯室の健康意識が高 ぎる」(87%)や「口腔疾患の早期発見に繋がる」(72%)等の理由が挙げられた。口腔内環境 チェック後には「歯科医院への受診勧奨」(86%)や「歯科医院向けの情報提供書の発行」(61 %)を期待しており、薬局から歯科へ患者を繋げる形を望んでいることが示唆された。また、定 過との関わりの経験がある歯科医師は63%にとどまったが、深島と連携を望む歯科医師は79%に 上った。連携推進に必要なこととして「連携に関する地域の仕組み」(64%)や「情報共有のた めの統一の書式」(59%)等が挙げられた。本研究により、薬局での唾液による口腔内環境チェ ックは歯科医師の認知度は低かったものの、二一ズが高いことが明らかとなり、多くの裏局で音 及させる意義は大きいと考えられた。また、薬局との連携を望む歯科医師は79%に 上った。連携推進に必要なこととして「連携に関する地域の仕組み、(64%)や「情報共有のた のの範一の書え,(59%)等が挙げられた。本研究により、薬局でで唾液による口腔内環境チェ ?とこのは可能のはのかったもの、二一ズが高いことが明らかとなり、9、の気局で音 Zをさせる意義は大きいと考えられた。また、薬局との連携を望むしたなり、1000000000000000000000000000000000000				
Notes					
Genre	Research Paper				
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2019000007-20190200				

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or

publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2019 年度 学事振興資金(個人研究)研究成果実績報告書

研究代表者	所属	薬学部	職名	助教	·윤 미노 생종			TE		
	氏名	岩田 紘樹	氏名(英語)	Hiroki Iwata	補助額	300	(A)	+14		
·····································										
薬局での口腔内環境チェックに対する歯科医師の認識及びニーズに関する調査										
研究課題(英訳)										
Needs of Dentists for the Oral Check at Community Pharmacies										
1. 研究成果実績の概要										
う蝕や歯周病は全身の疾患の原因にもなり得るため、口腔内環境の維持は重要である。一方で、近年、医療費抑制や健康寿命延伸 のために、薬局には健康サポート機能が求められている。2015 年 9 月に薬局店頭での唾液による口腔内環境チェックが可能となった が、それに対する歯科医師の認識やニーズを調査した報告はない。本研究では、薬局での口腔内環境チェックに対する歯科医師のニ ーズを明らかにするとともに、薬局と歯科の連携の展望を検討することを目的とした。調査対象は東京都内の歯科医院からランダムに 抽出した 1,000 件に勤務する歯科医師とした。2019 年 7 月 11 日から 2019 年 8 月 9 日に、郵送による無記名の自記式質問紙調査を 実施した。得られた 259 件の回答(回収率 26%)全てを解析対象とした。薬局での口腔内環境チェックに対する認知度は 5%と極めて低 かったが、それを支持した歯科医師は 85%に上り、「患者の歯・歯茎の健康意識が高まる」(87%)や「口腔疾患の早期発見に繋がる」 (72%)等の理由が挙げられた。口腔内環境チェック後には「歯科医院への受診勧奨」(86%)や「歯科医院向けの情報提供書の発行」 (61%)を期待しており、薬局から歯科へ患者を繋げる形を望んでいることが示唆された。また、薬局との関わりの経験がある歯科医師 は 62%にとどまったが、薬局と連携を望む歯科医師は 79%に上った。連携推進に必要なこととして「連携に関する地域の仕組み」(64%) や「情報共有のための統一の書式」(59%)等が挙げられた。本研究により、薬局での唾液による口腔内環境チェックは歯科医師の認知 度は低かったものの、ニーズが高いことが明らかとなり、多くの薬局で普及させる意義は大きいと考えられた。また、薬局との連携を望 む歯科医師は多く、地域の仕組み作りやツールの導入等、連携の在り方について更に検討する必要がある。										
Since oral diseases are related to systemic diseases, it is important to maintain the oral environment. In recent years, community pharmacies are required to have a health support function in order to reduce medical expenses and extend healthy life expectancy. In September 2015, it was allowed to check the oral environment using saliva at community pharmacies, but there was no report investigating the perceptions and needs of dentists about the oral checks at community pharmacies. In this study, we aimed to clarify the needs of dentists for checking the oral environment at community pharmacies and examine the prospects for collaboration between pharmacies and dental clinics. We conducted an anonymous self-administered questionnaire survey by mail to randomly selected 1,000 dentists working at dental clinics in Tokyo, from July 11, 2019 to August 9, 2019. All of 259 responses (recovery rate: 26%) were included in the analysis. Only 5% of dentists knew the oral environment checks at community pharmacies. However, 85% of dentists supported the oral checks at pharmacies because the checks increased the awareness of patients to health of their teeth and gums (87%) and led to early detection of oral diseases (72%). After the check, dentists expected recommendation for consultation to dental clinics (86%) and issuance of document for information provision to dental clinics (61%), which indicated they hoped to connect patients from pharmacies. Necessary items for promotion of collaboration between pharmacies and dental clinics included regional systems for collaboration (64%) and unified format for sharing of patients' information (59%). In conclusion, the oral environment checks with saliva at community pharmacies was not well recognized by dentists, but it was revealed that the checks were strongly needed, and the spread of the checks at more community pharmacies, and further studies are needed about the way of collaboration of local systems and the introduction of tools.										
3.本研究課題に関する発表										
発表者 (著者・	皆氏名 講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	()	発表学術誌名 蒈書発行所・講演学会)	学術誌発 (著書発行年月	行年	月 演年	月)		
中村慧亮, 岩田 子, 藤本和子, I		薬局での口腔内環境チェック する歯科医師のニーズ及び 歯科連携の展望		学会第 140 年会	2020 年 3 月					